

# 科目 科学英語Ⅳ (Scientific EnglishⅣ)

担当教員 永田 喜三郎、後藤 勝

## 【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

英語で書かれた科学論文等の内容を正確に読み取れるようになることを目的とする。

＜教育目標＞

- (1) 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ
- (2) 自ら主体的に学ぶ力をもつ

＜具体的な項目＞

- 専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)
- 問題を多角的に把握し、問題解決に必要な知識・技能を同定し、不足する知識・技能を自覚し、自ら獲得できる力 (2)

## 【2】 授業計画

2グループに分かれ、前後半7回ずつ各1名、計2名の教員の授業を受ける。授業は、各教員が配布したプリントを教材として音読や日本語訳を中心に進めていく。15回目に講義内容のまとめを行う。

## 【3】 到達目標

生命科学に必要な単語や生命科学で良く使用される英語表現を説明できる。  
正しい日本語で正確な翻訳ができる。  
科学英語を以前よりも早く読むことができる。  
科学分野の英単語の語彙を増やす。

## 【4】 授業概要

生物科学に関する基礎的な内容の英文を、毎回全員が少しずつ和訳する。音読を求める場合もある。

## 【5】 準備学習（予習・復習）および必要時間

配布されたプリントの当該部分を訳してくる（予習）。  
講義で学習した部分を再度、確認する（復習）  
予復習ともに1コマ当たり90分程度設けること。

## 【6】 教科書・参考書・参考資料

〔教科書〕各担当者が配付するプリント。英和辞典を用意すること。  
〔参考書〕普通の英和辞典に載っていない学術専門用語は、図書館にある「生物学辞典」、「化学辞典」、「生化学辞典」、「学術用語辞典」等で調べられる。予習の際、手間を惜しまずに調べること。

## 【7】 評価方法およびフィードバック

定期試験・授業態度（予復習内容）により評価する。読解力を重視する。  
課題50%＋定期テスト50%  
学期末試験実施1週間後には希望者に対して採点した答案を示して説明する。  
定期試験において理解度が低い内容については、次年度の授業に反映させる。

## 【8】 オフィスアワー

永田：月曜日および水曜日 2限  
後藤：火曜日 4限および金曜日 4限

## 【9】 関連科目

〔予め学んでおくとよい科目〕

科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 科学英語Ⅲ  
特になし

〔この科目に続く内容の科目〕

外国語文献講読（2016年度以降入学生用）  
特になし

## 【10】 その他

必ず予習して出席することが最も重要である。  
読解力をつける秘訣：まず一節全体を辞書をひかずに流し読みし、どういうことが書いてあるかを掴む。次に辞書をひきながら精読する。翻訳した文の意味が分からない時は、原文の構造をじっくり解剖する（主語は何か、述語は何か、補語や目的語は何か、代名詞や関係代名詞は何を受けているか、形容詞は何を修飾しているか、正しい訳語を選んでいるか、等々）。最後に、前後の文章の文脈を照らして論理的に首尾一貫しているかを検討する。